

2024年 1月 4日

当院を受診された患者さんへ

「トリソミー8染色体異常を有する骨髄異形成症候群及び急性骨髄性白血病における、消化管合併症に関する後方視的検討」への協力のお願い

血液内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021年4月1日～2023年12月31日の間に、当院において、8トリソミー染色体異常を有する骨髄異形成症候群及び急性骨髄性白血病にて治療を受けられた方。

研究期間：岐阜市民病院臨床研究審査委員会での承認日 ～ 2025年3月31日

研究目的・利用方法：

血液疾患である骨髄異形成症候群(MDS)と、消化管疾患であるベーチェット病(BD)は、異なる疾患と考えられていたが、MDSに様々な自己免疫疾患が合併することから、BDとの関連が指摘されています。実際に、MDSとBDの合併は約2%で見られるという報告があり、そこには8番染色体の異常(トリソミー8)が関係します。BDに限らず、自己免疫機序によると思われる消化管病変をMDSが合併した場合には、血小板減少による出血傾向を有する状態で消化管から出血しやすくなることから、その出血が容易に重篤となります。消化管疾患を有するMDSの臨床像は明らかでは無く、治療法も定まったものはありません。トリソミー8を有する骨髄系腫瘍を経験する中で、消化管病変を有する症例では治療に難渋します。そこで、トリソミー8を有するMDS/AMLの治療成績向上を目指したいと考えましたが、まずは自験例の臨床特徴や治療戦略を振り返ることから始めるべきであると考え、本研究を計画しました。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の、電子カルテ内の情報を用います。全て日常診療で実施された項目です。個人情報情報が漏れることはありません。

一般情報：年齢、性別、身長、体重、身体活動性評価、既往歴、合併症

疾患情報：骨髄異形成症候群/急性骨髄性白血病の分類、

遺伝子情報、染色体、白血病細胞割合、表面抗原検査、異形成情報

画像検査：CT(髄外病変、感染巣)、MRI、心エコー、消化器内視鏡所見

血液検査所見：末梢血・像、生化学一般、凝固、BNP、WT-1、感染マーカー

治療情報：骨髄異形成症候群/急性骨髄性白血病に対する治療内容及び治療効果、

消化管病変に対する治療内容及び治療効果
治療後再発有無（再発例では再発日）、生存期間

研究組織：

【研究代表者】

岐阜市民病院 血液内科 副部長 北川順一

【研究責任者および研究事務局】

岐阜市民病院 血液内科 副部長 北川順一

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先までお申し出ください。なお、本研究は、岐阜市民病院の臨床研究審査委員会において審査・承認されております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜市民病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜市民病院 血液内科
電話番号：058-251-1101
氏名：北川順一

研究責任者・代表者

岐阜市民病院 血液内科
電話番号：058-251-1101
氏名：北川順一

【相談窓口】

岐阜市民病院 血液内科
〒500-8513
岐阜県岐阜市鹿島町7丁目1番地
Tel：058-251-1101